

【ライブ配信研修】

(日本看護協会 e ラーニングを活用した) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修(第 1・2 回)開催要領

[研修分類: ① 地域社会のニーズに応じた看護職の役割発揮を支援する研修 ② 社会的な役割発揮を意図した研修(重点方針・重点事業関連含む)]

主催 公益社団法人 北海道看護協会

- | | |
|----|---|
| 1 | 目 的
(1)外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
(2)習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取組みに役立てることができる。 |
| 2 | 目 標
(1)講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
(2)所属施設の医療機能や地域の実情などから、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
(3) (1)及び(2)を踏まえて、演習によって在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。 |
| 3 | 応募期間
<u>2023年8月1日～8月18日 17:00まで</u> 9月29日 17:00まで延長受付中 |
| 4 | 開催期間
[eラーニング視聴期間] 2023年11月1日～12月8日
[ライブ配信] 第1回: 2024年1月17日 第2回: 2024年1月18日 |
| 5 | 開催会場
本研修(ライブ配信)はWeb(オンライン)参加のみとなります。視聴に適した場所でご参加ください。
※本研修(ライブ配信)はWeb会議システム(Zoom)で研修を開催します。 |
| 6 | 定 員
各 80 名 |
| 7 | 受講対象
・小規模病院(100床未満)の外来、診療所に勤務しているまたは勤務予定のある看護職員(救急外来勤務者も含む)
・保健師、助産師、看護師、准看護師
・eラーニング視聴を期日までに終了し、事前課題を提出できる者
・本研修は1名につき1台PC(カメラ・マイク付き)等の機器及びインターネット環境の準備ができ、かつ、Web会議システムZoomを使用できる方を対象とします。
※定員に満たない場合は、小規模病院以外の勤務者も可 |
| 8 | 修了証
・eラーニングおよび全プログラムを受講した者に修了証を発行します。欠席・遅刻・早退は認めません。 |
| 9 | 料 金
会員 5,060 円(税込)、非会員 12,650 円(税込) |
| 10 | 事前課題
・eラーニングによるすべての講義を受講後、下記事前課題について各自まとめる。
・事前課題提出期限: 2023年12月22日(金)17時
・事前課題: 下記の①②、または①③について、事前課題記入用紙(様式1)に記載する。
①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
②外来看護に関する実践事例
③外来における療養支援について自身が感じている課題
・事前課題、事前課題記入用紙(様式1)の入手方法や提出方法等の詳細は、申込結果「承認」の通知が届きましたら、マナブトップページから イベントを探す で本研修会を検索し、本研修会ページ下方の資料1:事前課題について(青字)をクリックしてダウンロードし、事前課題について確認してください。 |

(2ページにつづく)

- 11 連絡先 公益社団法人 北海道看護協会 事業部教育課 TEL : 011-861-3273
※遅刻・欠席の際は、必ずこちらまでご連絡ください。
- 12 個人情報の取り扱い 研修会申込書等で得た個人情報は、研修受講履歴を会員専用ページ「キャリアス」で会員本人が参照できるよう、会員情報管理体制ナースシップへ連携するために利用することをご了承ください。
- 13 講義資料 講義資料の郵送は行っていません。
・eラーニングの講義資料は各自、eラーニングサイトにログインしダウンロードし、ご準備願います。
・ライブ配信時の講義資料は各自、**マナブルの研修ページよりダウンロードし、事前にご準備願います。**
講義資料掲載時期：研修開催日の5～7日前（研修会終了の翌月末に掲載を終了します）
- 14 その他 視聴するパソコン等の機器、インターネット環境の準備は各自でお願いします。
初めてライブ配信研修を受講する方は、Zoomのテストミーティング（<https://zoom.us/test>）にアクセスし各自で接続テストをしてください。また、Zoom最新のバージョンにアップデートして受講願います。

15 プログラム

※eラーニング視聴期間：2023年11月1日～12月8日

	内容	講師
eラーニング 視聴	第1章 外来看護を取り巻く状況と課題、 国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 氏 (公益社団法人日本看護協会 常任理事)
	第2章 外来における在宅療養支援	永田 智子 氏 (慶応義塾大学看護医療学部 教授)
	第3章 在宅療養支援を支える地域連携とネットワーク	吉田 千文 氏 (常磐大学看護学部 教授)
	第4章 在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援	藤井 淳子 氏 (東京女子医科大学病院 家族支援専門看護師)
	第5章 在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源	松本 明子 氏 (聖路加国際病院相談・支援センター ナースマネジャー)

第1回：2024年1月17日 第2回：2024年1月18日

時間	14:15	14:30	15:00	15:10	17:10
ライブ配信	オリエンテーション	【北海道における医療・看護を取り巻く状況など】 北海道保健福祉部地域医療推進局 医務薬務課 弓野 嘉子	【事例検討】（グループワーク）	【全体共有】	ファシリテーター

<ファシリテーター> 15:10～17:10

- ・木下 優子 函館五稜郭病院
- ・郷野 美雪 社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院
- ・佐藤 由佳 釧路赤十字病院
- ・下風 真衣 市立室蘭総合病院
- ・中俣 幸代 社会医療法人母恋天使病院
- ・成澤 麻紀 国家公務員共済組合連合会斗南病院
- ・飛岡 和樹 医療法人深仁会手稲深仁会病院
- ・森田 寿絵 JA 北海道厚生連旭川厚生病院
- ・矢野 えり子 市立札幌病院
- ・横沢 寿子 滝川市立病院